

JBL
by HARMAN
BOOMBOX
取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

- 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
 - 禁止してはいけないことを示す記号です。
 - 分解してはいけないことを示す記号です。
 - 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 - 触れてはいけないことを示す記号です。

- 警告**
- ACアダプタは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万が一の場合、ACアダプタを容易に引き抜くためです。
 - 付属品以外の電源コードは使用しない。火災の原因になることがあります。
 - 付属品のACアダプタを他の機器に転用しない。火災の原因になることがあります。
 - 船舶などの直流(DC)電源には接続しない。火災の原因になります。
 - 電源コードを束ねた状態で本機を使用しない。火災・感電の原因になります。
 - 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
 - 電源コードが破損した場合(芯線の露出や断線など)には、販売店または弊社サービスセンターに交換(有償)を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 - タコ足配線しない。発熱により火災・感電の原因になります。
 - テールプラグ(延長コード)を使用しない。発熱により火災・感電の原因になります。
 - 雷が降りはじめたら、電源アダプタには触れない。感電の原因になります。
 - 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを本機の下敷きしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 注意**
- 煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜く。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。
 - 水没させない。故障の原因になります。
 - 本機の内部に水などが入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 - 本機の内部に異物を入れない。万一、本機の内部に異物が入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社サービスセンターに点検をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 - アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
 - 分解や改造をしない。感電の原因になります。
 - 調理台や加湿器の近くなど油煙や潮気がある場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。
 - 直射日光があたる場所や、湿度が異常に高くなる場所(除湿機のそばなど)に設置しない。キャビネットや内部回路に影響が生じ、火災の原因になることがあります。
 - オーディオ機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のケーブルを使用し、接続する。指定以外のケーブルを使用すると発熱し、やけどの原因になることがあります。
 - ほこりや湿気の多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。
 - 不安定な場所や振動する場所に設置しない。本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
 - 移動するときは電源スイッチを切り、すべての接続を外す。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
 - 薬物厳禁
ペンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

内蔵電池についてのご注意

- ① 内蔵電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。
漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。また内蔵電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
● 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
● 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
● 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
- ② 内蔵電池について以下のことに注意する。
本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
● 液の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車等に放置しないでください。
● 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発生したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
● 電子レンジや高圧容器に入れてください。
● 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
● 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
● 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
● 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

- 本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器(電子レンジやコードレス電話など)で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができなくなる場合があります。
- ・2.4GHzを利用する無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境により電波が届かない場合があります。)
 - ・ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合があります。)
 - ・テレビにノイズが出た場合、本機(および本機対応製品)がテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機(および本機対応製品)をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。
- 注意**
- ・本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - ・本機は、全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。
 - ・弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 安全にお使いいただくために**
- ・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
 - ・航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。
- ご注意ください電子機器の例**
- 補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
- ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。
- 電波法に基づく認証について**
- 本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。
- ・本機を分解/改造すること。
 - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

2.4 FH 1

- 周波数について**
- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFHSS(周波数拡散方式)を採用し、想定される干渉距離は約10mです。
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
 - 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
 - 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

本機の防水性能について



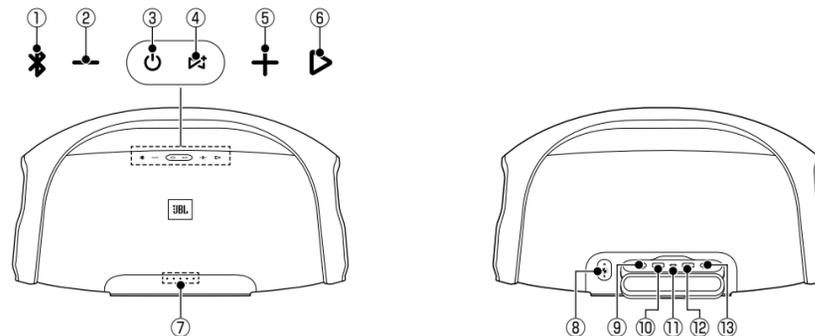
- 本製品は、防水規格IPX7相当の仕様となっています。一時的に一定水圧の条件に水没しても内部に浸水することがない「防浸形」です。
- ※ 完全防水ではありませんので水中では使用しないでください。
 - ※ 水がかかる恐れのある場所で、防水仕様ではないUSBケーブルやオーディオケーブルを接続して使用しないでください。
 - ※ 万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。
 - ※ シリコンのカバーをしっかりと閉めてご使用ください。
 - ※ 万一、水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は、保証対象外となりますのであらかじめご了承ください。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- ACアダプタ
- 電源ケーブル
- 日本語取扱説明書(本紙)
- 多言語取扱説明書
- 保証書(日本国内用)

各部の名称とはたらき



- 1 Bluetooth ボタン (Bluetooth 記号)
 - 2 音量 ー ボタン
 - 3 電源ボタン (電源記号)
電源を入れると、ボタンが白色で点灯します。
電源を入れる / 切るたびに、電子音が鳴ります。
 - 4 JBL コネクトプラスボタン (JBL Connect Plus 記号)
 - 5 音量 + ボタン
 - 6 ▶ ボタン
再生・一時停止・曲送りを行います。
Bluetooth で接続したデバイスが着信したときは、ハンズフリーボタンとして電話を受ける・切ることができます。
 - 7 バッテリーインジケーター
 - 8 音質切り替えボタン (音質記号)
 - 9 AUX (オーディオ入力) 端子 (防水カバー内)
 - 10 充電用 USB 端子 (防水カバー内)
 - 11 ファームウェア更新用 MICRO USB 端子 (防水カバー内)
 - 12 充電用 USB 端子 (防水カバー内)
 - 13 AC 電源入力端子 (防水カバー内)
本機を充電するときに、付属の AC アダプタと電源ケーブルを使って壁面のコンセントに接続します。
- ※ ⑨、⑩、⑪、⑫、⑬使用時は、防水カバーを開けてください。これらの端子を使わないときは、必ずカバーを閉じて本機をご使用ください。

ご注意
本機は両サイドにパッシブブラジエーターを装備しています。
・破損の原因になりますので、パッシブブラジエーターに手を触れないでください。

本機を充電する

付属の AC アダプタと電源ケーブルを使用して充電します。充電時間は約 6.5 時間*です。

* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

▶ 接続と充電

- ① 付属の AC アダプタに、付属の電源ケーブルを接続する。
- ② AC アダプタの端子を本機の AC 電源入力端子に接続する。
- ③ 電源ケーブルを壁面のコンセントに接続する。
本機は国内外の電圧に対応しています。海外でご使用の際は、お使いになる国のコンセントに合った変換プラグが必要になります。



充電中は、本機のバッテリーインジケータがひとつずつ点灯していきます。5つのインジケータがすべて点灯したら充電完了です。

電池残量について

本機のバッテリーインジケータで、電池残量の目安を確認できます。ご使用中、電池の消費にともないインジケータがひとつずつ消灯していき、インジケータの点灯が少なくなったら充電してください。

ご注意

付属の AC アダプタと電源ケーブルは防水仕様ではありません。水がかかる恐れのある場所で充電しないでください。

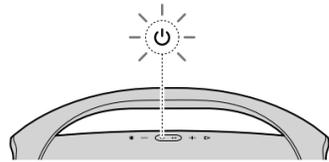
Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

- ① 電源ボタン (⏻) を押し、本機の電源を入れる。
- ② Bluetooth ボタン (📶) を押す。
電子音が 2 回鳴り、電源ボタン (⏻) が青く点滅してペアリング設定状態になります。



- ③ デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。
ペアリングが完了すると電子音が 1 回鳴り、電源ボタン (⏻) が青く点灯します。

iPhone/iPod/iPad の場合：

- ① iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。
「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- ② デバイス一覧から「JBL BoomBox」を選択する。
接続が完了すると、デバイス上で「接続済み」と表示されます。



その他のデバイスの場合：

- ① ペアリング設定状態にする。
接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も併せてご覧ください。
(パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。)
一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。
電源ボタン (⏻) が青く点灯すると、ペアリングは完了です。

本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

ご注意

Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。

▶ Bluetooth 接続を解除するには

デバイス側で Bluetooth を「オフ」にし、接続を解除します。あるいは、デバイス側で「JBL BoomBox」の接続登録を解除してください。

自動スタンバイモードについて

本機の電源がオンのとき、約 30 分以上音声入力がなく操作も行われない状態が続くと、自動的にスタンバイモードになります。スタンバイモードになると、AC 電源に接続していた場合や外部デバイスを充電中であった場合は電源ボタン (⏻) が白く点滅し、内蔵電池で使用していた場合は電源ボタン (⏻) が消灯します。
スタンバイモードになったときは、本機の電源を入れてからデバイスを接続しなおし、デバイス上で音声の再生を始めてください。
なお、自動スタンバイモードをオフにすることはできません。

基本操作

本体のボタンで以下のコントロールを行うことができます。

【音楽再生 / 音量調節 / 曲の操作】

▶ボタン：1 回押すごとに再生 / 一時停止します。
音楽再生中に 2 回続けて押すと、次の曲にスキップします。

音量 + ボタン：1 回押すごとに音量が上がります。
音量 - ボタン：1 回押すごとに音量が下がります。

【通話】

▶ボタン：着信中に 1 回押すと、電話を受けます。
約 2 秒間長押ししてボタンから手を離すと着信拒否します。
通話中に 1 回押すと、電話を切ります。

複数のスピーカーをワイヤレス接続する (JBL コネクトプラス)

複数の JBL コネクトプラス対応のスピーカーを接続して同じ音声を再生することができます。(100 台以上接続可能)

- ① 1 台のスピーカーとデバイスを Bluetooth 接続する。
接続方法は、「Bluetooth 接続を行う」を参照してください。
- ② Bluetooth 接続したスピーカーの JBL コネクトプラスボタン (▶) を押す。
- ③ 2 台目以降のスピーカーの JBL コネクトプラスボタン (▶) を押す。
接続されると、JBL コネクトプラスボタン (▶) が点灯します。

JBL Connect アプリ (無料) を使うことで、同時に接続した 2 台の BOOMBOX のスピーカーを左チャンネル、右チャンネル用に設定し、より臨場感のあるサウンドをお楽しみいただくことができます。

* ステレオ再生には同じ機種が 2 台必要になります。違う機種 2 台でのステレオ再生はできません。



JBL Connect アプリは App Store または Play ストアからダウンロードし、インストールしてください。

* JBL Connect アプリは、iOS7 以上、Android 4.3 以上の端末に対応しています。

JBL Connect アプリについて

▶ アプリケーション (JBL Connect・無料) をインストールする

アプリケーション (JBL Connect) をインストールすると、2 台の BOOMBOX のスピーカーを使ってステレオ再生を楽しむ、あるいは本機のボタンの機能に関する設定をするなどの操作ができます。

アプリケーションをインストールするには

お使いのデバイスでブラウザを起動し、「JBL Connect」で検索します。「JBL Connect」が見つかったら、画面の表示にしたがってダウンロード、インストールしてください。

JBL Connect のダウンロードは無料*です。

* ただし、アプリのダウンロードの際の通信料は、お客様のご負担となります。

* JBL Connect アプリは、iOS7 以上、Android 4.3 以上の端末に対応しています。

▶ JBL Connect アプリの基本画面

JBL Connect アイコンをタップし製品を選択すると以下の画面が表示されます。



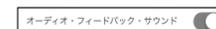
▶ 本機の▶ボタンの着信機能を有効・無効にする

JBL Connect アプリの基本画面で「スピーカーホン機能」のオン・オフ切り替えボタンをスライドし、着信機能を有効または無効に切り替えることができます。



▶ オーディオ・フィードバック・サウンド

オーディオ・フィードバック・サウンドをオフにすると操作時などに本体から鳴るサウンドをオフにすることができます。



音声アシスタント機能を使う

JBL Connect アプリを使うことで、お使いのデバイスの Siri または Google Now をアクティブ化することができます。

JBL Connect アプリのダウンロードとインストールのしかたについては「JBL Connect アプリについて」をご覧ください。

- ① JBL Connect アプリを起動し、「BOOMBOX」をタップする。
- ② 画面下部の  にタッチして上にスワイプする。
- ③ 「ボイス・アシスタント」をタップする。



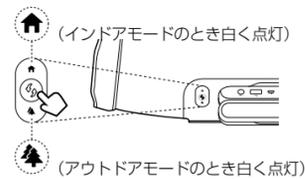
本機の  ボタンを、お使いのデバイスで Siri または Google Now のアクティベーションキーに設定します。

これで、本機の  ボタンを押すと Siri または Google Now をアクティブにすることができます。

使用場所に適した音質にする

本機は、屋内に適した音質または屋外に適した音質の 2 つの音質モードを備えています。

本機の電源がオンのときに、音質切り替えボタン () を押しごときにインドアモードとアウトドアモードが切り替わります。



*JBL Connect アプリを使用して音質モードを切り替えることもできます。JBL Connect アプリを起動し、「BOOMBOX」をタップしたら、「サウンドモード」で「インドア」または「アウトドア」をタップして希望のモードに切り替えてください。



その他のオーディオ機器の音楽を聞く

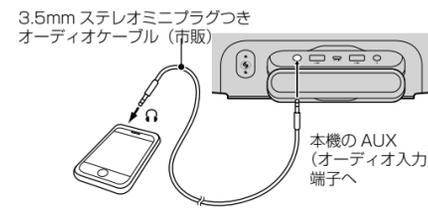
市販の 3.5mm ステレオミニプラグつきオーディオケーブルを使ってお手持ちのオーディオ機器や PC に接続し、音声を再生することができます。

ご注意

オーディオ機器・PC の再生の音量は低めに設定しておいてください。再生を始めると、思わぬ大音量となることがあります。

- ① 3.5mm ステレオミニプラグつきケーブル(市販)を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機の AUX (オーディオ入力) 端子を接続する。

※ 端子に水分が付着している場合は、よく乾かしてからご使用ください。



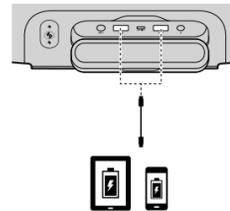
- ② オーディオ機器または PC で音声を再生する。

ご注意

水がかかる恐れのある場所で、オーディオケーブルを接続して使用しないでください。

外部デバイスを充電する

本機は、外部デバイス充電用の USB 端子を 2 つ備えています。iPhone/iPod/iPad、スマートホンやタブレットなどのポータブルデバイスに付属しているケーブルが USB 接続に対応している場合、本機にデバイスを接続して充電することができます。



- ① 電源ボタン () を押し、本機の電源を入れる。
- ② iPhone/iPod/iPad、スマートホンやタブレットなどのポータブルデバイスに付属しているケーブルを使って、本機とデバイスを接続する。
充電が始まります。
※ 端子に水分が付着している場合は、よく乾かしてからご使用ください。
・デバイスが満充電になる前に、約 30 分以上音声入力がなく操作も行われない状態が続くと、本機はスタンバイモードになり電源ボタン () が白く点滅しますが、充電は続きます。本機からケーブルを抜くと本機の電源が切れます。
・本機の電源を切ると、充電は中断します。

ご注意

水がかかる恐れのある場所で、充電を行わないでください。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。
	オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。
	オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

Bluetooth	Bluetooth4.2
伝送距離	Class 2 (通信距離約 10m、障害なきこと)
対応プロファイル	A2DP v1.3、AVRCP v1.6、HFP v1.6
音声入力	Bluetooth × 1、外部音声入力 × 1
最大出力	30W × 2 (AC 電源で動作時)、20W × 2 (内蔵電池で動作時)
使用ユニット	ウーファー：4 インチ × 2 ツイーター：20mm × 2
周波数特性	50Hz ~ 20kHz
電池	20,000mAh (リチウムイオン充電電池 74Wh)
充電時間*	約 6.5 時間
連続再生時間*	最大約 24 時間
サイズ	高さ 254.5mm × 幅 495mm × 奥行き 195.5mm
質量	5.25kg
保護等級	IPX7 (一時的に一定水圧の条件に水没しても内部に浸水することがない「防浸形」)

※・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。
・充電、再生時間は環境により異なります。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください

▶ 本機の廃棄について



Li-ion

本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。

リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。

本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。

会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ 製品に関するお問い合わせ

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

メールでのお問い合わせは、上記 URL よりお問い合わせフォームをご利用ください。

Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル)

受付時間: 土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ~ 17:30



- Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
- JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2017 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.

10172000